

学校長 式辞

木々の芽吹きが始まり、春の柔らかな気配を感じる今日の良き日、大阪府立貝塚南高等学校第47回卒業証書授与式を挙げていきますことを、卒業生はもとより私ども教職員にとっても大きな喜びであります。

保護者のみなさま本日ここに、226名の卒業生を送り出すことができました。この栄誉は日頃より皆様に暖かいご支援をいただいているお陰でございます。高いところからではございますが御礼申し上げます。ありがとうございます。入学以来この間、科学技術やグローバル化の急速な進展、国際秩序の蹂躪、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有（みぞう）の厄災（やくさい）など様々な変化や制約を受け入れながらお子様を励まし、慈しみ、育てられました。成長のスピードに驚きやためらい、語り尽くせぬ喜びやご心配ご苦労があったことと思います。ここに実を結び、お子様は堅実に高校教育を終え心身ともに頼もしく立派に成長されました。敬意と感謝の気持ちを込め、お祝いの言葉を申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。また、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。お子様の卒業後も引き続き、貝塚南高等学校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

さて、47期生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは入学以来たゆまぬ努力を重ね本校所定の教育課程を終了し今日の日を迎えました。在学中はパラダイムシフトのような変化の激しい状況でしたが、くじけることなく対応いただきました。特に、感染症のパンデミックにより、人と人との五感を通したコミュニケーションが制約されることにより、漠然とした不安を感じられることもあったのではないのでしょうか、教職員にとっても、新たな生活様式の中で最大限の教育の質を担保しようと懸命のチャレンジでした。共にチャレンジしていただいたみなさんに敬意を表します。

今日という日は生涯の中でも数少ない特別な日です。高校生活の一場面が蘇えったり、卒業後のことを思い描いていることでしょうか。授業、学校行事、部活動、登下校で友と語りあったこと、送迎いただいている際のご家族との触れ合い、嬉しかったこと、辛くて涙したこともあったのではないのでしょうか、その一つひとつはかけがえのないものであり、みなさん一人ひとりの心のアルバムでもあります。また、みなさんの頑張る姿はいつも家族や周囲の仲間、我々教職員を勇気づけ感動や喜びを与えてくれました。

人は人の中で育ち、支え支えられ長い人生を歩みます。これらの経験、多くの人々との出会いがみなさんの生きる力となり、未知なる社会に歩み出す土台が完成しました。本日は人生の大きな節目です。本校で出会った仲間、無償の愛情を注いでくださったご家族のみなさま、近くで教え見守り続けた先生方、地域や関係者のみなさま等多くの方々に感謝の気持ちを伝えて下さい。

みなさんが歩み出す社会は価値観の変化により伝統的に受け継がれてきたシンプルな社会ではありません。ライフスタイルの幅が拡大した多様な社会へと変化しています。多様な社会では答えは一つではなく常にグローバルな視点と柔軟な発想や創造性が求められます。自分の価値観を普遍的なものだと捉えず、経験や学びを通して新たな価値を見出して下さい。また、多様な文化や個性を認め合い、環境を意識し自然とともに生きることのできる寛容な心と他者の幸せを願うしなやかな感性を備えていただきたいものです。門出にあたりみなさんにお話ししたいことはたくさんありますが3点に絞りお伝えします。

一つ目は【生涯学び続けてください】情報社会（4.0）時代の次に到来するのが、society5.0時代、人工知能技術に支えられた時代とされています。私はその人口知能を支えるのは人である、みなさんであると捉えています。「読み・書き・対話する能力」「科学的な思考力」「価値への感性と好奇心や探究力」に加えて「人間性」などについて、学び舎や社会生活で、又これから出会う多くの人や環境から主体的

に学び続けて下さい。特に、これからの時代、人と人の細やかで豊かな関係性を大切にしていかれることを強く願います。

二つ目は【仕事の流儀について】です。みなさんはいずれ全員、仕事を持ちます。これまでは問題も答えもほぼ準備されていましたが、これからは答えのない問題と向き合うこととなり自己責任が求められます。健全な批判的精神を否定するわけではありませんが、与えられた仕事に対して、「これまで経験がない」「時間がない」「条件がよければもっと良い仕事ができるのに」などという言い訳や責任のがれはよくありません、少くくらい難しい状況であっても不平や不満を語らず与えられた条件や環境の中でベストを尽くし合格点の結果を引き出す。これが大人の仕事です。

三つ目は【美しく生きてください】美しいとは容貌や姿が良いという意味ではありません。不平や不満を語らず未来や希望を語り、他者の幸せを願う心やチャレンジする心を忘れずに持ち続け、一生懸命に正しく生きる姿勢です。その生きざまに周囲は共感を覚えるはずで。以上3点、記憶に留めていただき個々に解釈いただければ幸いです。

終わりになりますが、47期生の皆さんひとり一人がそれぞれの世界に力強く羽ばたき、その前途が洋々たることを心から念じ卒業式の式辞といたします。

令和5年2月28日
大阪府立貝塚南高等学校
校長 藤田 繁也